

質 問 回 答

2023 年 9 月 29 日

「パキスタン国 2022 年洪水を踏まえた効果的な堤防管理のための能力向上プロジェクト」

(公示日:2023 年 9 月 20 日／調達管理番号:23a00568)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	p1 第 1 章 3.(4) p18 第 2 章別紙 1 3.(4)	1 頁では契約履行期限(予定):2023 年 11 月~2025 年 4 月、 18 頁では事業実施期間:2023 年 3 月~2025 年 4 月を予定(計 25 ヶ月) となっておりますが、事業実施期間は成果 1 を含めた期間と考えればよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
2	p11 第 2 章第 5 条 2.(1)④	業務 5-1 において成果 4 で特定した優先プロジェクトのプレ F/S の実施が想定されています。一方、成果 4 の中で特定するプロジェクトやその対象箇所は成果 3 の中での短中期の行動計画策定や成果 2 の中で行うインダス川堤防の脆弱箇所の抽出を行った上で決まると想定します。優先事業や箇所が決定後にプレ F/S を始めるとすると、地形測量や地質調査の実施やプレ F/S 成果への反映を事業完了報告書(ドラフト)の提出(履行期限 3 か月前)に間に合わせる事が非常に困難と考えます。地形測量や地質調査を行わないことで検討精度は低くなるものの、団員と傭人による現地調査及びデスクトップサーベイレベルの情報でプレ F/S 成果をとりまとめることを想定されていますでしょうか。	先行実施した「洪水管理アドバイザー」によって、Sindh 州の PID が 2023 年に実施した Vulnerability 調査にて、インダス川本川沿いに脆弱性な堤防が 17 地点を選定しており、さらに、アドバイザー専門家が決壊リスクの高い 6 箇所を抽出しています。うち Akil Link Bund 及び Old Abad Bund(総延長 3km 弱)については、既に堤防の諸元、構造及び事業費等の初期検討を終えている状況です。ご希望のある方に検討の概要資料を配付しますので、 gegdm@jica.go.jp にご依頼ください。 なお、業務 4-2 において、これら検討結果の妥当性は再検証することを想定しておりますが、結果として優先して実施すべきプロジェクトの内容が異なる場合には、上記と同等の Pre-F/S を行い、

			<p>優先して実施すべきプロジェクトの内容が同一の場合にはゼロからの検討は不要と考えています。</p> <p>プレ F/S に必要な期間は、成果 2~4 に要する活動期間やその調査結果に左右される可能性があります。現段階では、「インダス川の堤防の脆弱箇所を効果的かつ効率的に特定する手法」などと合わせて想定される優先プロジェクトに基づいたご提案を検討いただければと考えています。</p>
3	p26 第3章 1.(3)1)②	<p>評価対象とする業務従事者の予定人月数 19.5 人月うち本邦研修に関する業務人月 1.00 人月(定額計上分)を含む。となっておりますが、評価対象者が研修に同行する必要があるかどうかを確認させてください。</p>	<p>評価対象者が研修に同行する必要があるかどうかについては、業務の実施方法ですので最適な案をご提案願います。(JICA側の想定を提示することにより、応募者よりの提案の幅が狭くなる可能性を危惧しています。)</p>

以上